

平成27年度 事業計画

日本アルコール産業株式会社

平成27年3月31日

平成27年度の事業運営の基本方針

- ① アルコール事業は、発酵アルコールについては『安全で安心な製品』を安定して供給することを最重点目標と位置付け、品質向上と製造コスト低減により競争力を強化し、販売数量の維持・拡大を図りつつ、原料価格の上昇に応じた販売価格の適正化を目指します。合成アルコールについては販売数量の維持、拡大を図り、日本合成アルコール株式会社における設備更新を促進し、安定供給基盤の確立を支援いたします。
- ② 関連事業は、手指消毒剤（キビキビ）の企業向け備蓄需要の掘り起しと、有機入り複合肥料（たわわ・サトウキビのちから水）、土壌還元消毒用資材（エコロジール）の拡販により収益の改善を目指します。
- ③ 宮古島バイオエタノールプロジェクトを推進し、将来の事業化検証を進めます。

I . アルコール事業

- 発酵アルコールは、原料価格の上昇に応じた販売価格の適正化を図りつつ、安全で安心な製品の安定供給に努めます。
- ・ 3工場の最適生産とグループ企業と連携したサプライチェーンマネジメント機能により安定供給を確実に実施します。
- ・ 製品品質の向上と品質管理を徹底します。
- ・ 原料貯蔵能力を最大限活用し、原料調達の安定化を図ります。
- 合成アルコールは、販売数量の維持、拡大を図り、日本合成アルコール株式会社の設備更新を促進し、安定供給基盤の確立を支援します。

Ⅱ．関連事業

- **関連事業は、営業体制の強化を図り、アルコール製品、肥料製品、土壌還元消毒用資材の販売拡大により収益の改善を目指します。また、宮古島バイオエタノールプロジェクトを推進し、将来の事業化に向けた検証を行います。**
- **アルコール製品は、手指消毒剤（キビキビ）等の新たな企業向け備蓄需要の掘り起しを図り、販売を拡大します。**
- **肥料製品は、有機入り複合肥料（たわわ、サトウキビのちから水）の全国販売と海外輸出販売により、販売を拡大します。**
- **土壌還元消毒用資材（エコロジール）の技術、効果をユーザーに広めつつ、全国販売を拡大します。**

- **宮古島市のバイオエタノール製造設備の指定管理者として、製造設備の維持管理と将来の事業化に向けた検証を行います。また、エコアイランドPR館の指定管理者として設備の維持管理を行います。**

Ⅲ. 技術力の強化

- ・ アルコールを原料とした新たな商品開発の可能性を検討します。
- ・ 製品品質の向上、製造コストの低減に向けた新技術の適応を図ります。

Ⅳ. 人材力の向上

- ・ グループでの計画的な教育、訓練、研修、資格取得を通じ、人材力の向上を図るとともにグループ人事交流による人材活用を図ります。
- ・ 技術報告会等による技術力の向上及び改革活動による積極的な社員意識の涵養を図ります。

V. 震災対策の強化

- **首都直下型地震、東海地震の発生を想定し、安定供給を確保するためのBCPの観点から、震災対策の強化に取り組みます。**

収支計画概要

平成27年度事業計画では、発酵アルコールについては、品質向上、製造コスト低減による競争力の強化を図りつつ、原料価格の上昇に応じた販売価格の適正化を行い、合成アルコールについては、販売数量の維持、拡大を図り、関連事業については、手指消毒剤、有機入り複合肥料、土壌還元消毒用資材の拡販により収益の改善を図り、目標の達成を目指します。

(単位:百万円)

売上高	27,002
営業利益	415
経常利益	450